

木曾岬町農業委員会総会会議録

令和4年2月7日

木曾岬町農業委員会

木曾岬町農業委員会会議録

令和4年2月7日午後7時00分に、木曾岬町農業委員会総会は木曾岬町庁舎会議室に召集された。

1. 委員会の定数は次のとおりである。

9名(欠員0名)

2. 出席委員は次のとおりである。

- 1 番 加藤 光雄
- 2 番 浅井 弘幸
- 3 番 黒宮 俊明
- 4 番 榎田 法行
- 5 番 平野 洋二
- 6 番 黒宮 喜代子
- 7 番 岡村 なつ枝
- 8 番 白木 斉
- 9 番 丹村 巧

3. 欠席委員は次のとおりである。

なし

4. 会議議案に意見を述べるため、会議に出席した推進委員は次のとおりである。

- 平松 和憲
- 伊藤 博幸
- 加藤 哲也
- 伊藤 久志

5. 会議議案説明のため、会議に出席した者は次のとおりである。

事務員 多賀 達人

6. 会議の書記は次のとおりである。

事務局長 多賀 達人

7. 会議の議案は次のとおりである。

- 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
- 議案第2号 農用地利用集積計画について

8. 傍聴者は次のとおりである。

なし

9. 会議

会議内容は次のとおりである。

(開会の挨拶)

議長

本日は、農業委員会を開催いたしましたところ、委員の皆様には公私何かとお忙しい中、ご出席を頂きましてありがとうございます。

只今より、木曾岬町農業委員会を開催いたします。

本日の欠席委員は花井文彦推進委員です。

よって出席委員は、農業委員9名、推進委員4名です。本日の会議が成立します事をお伝えいたします。

(書記の指名)

議長

次に、書記の指名を行います。

書記には、多賀 事務局長 を指名したいと思います。異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

議長

それでは、多賀 事務局長 よろしくお願い致します。

議長

只今より会議に入ります。各議案につきまして、よろしくご審議の程お願い申し上げます。

(午後7時00分 開会)

議長

農業委員会会議規則第13条の規定により、出席委員さんの中から議事録署名者を2名、選出することになっておりますことから、本日の議事録署名者として、黒宮喜代子委員、岡村なつ枝委員にお願い致します。

ご両名の方、よろしくお願い致します。

それでは、議事に入ります。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について

議案第2号 農用地利用集積計画について

以上の2議案を上程致します。

只今上程した議案の内容について、事務局の説明を求めます。

事務局

総会事項書に基づき説明をさせていただきます。

事項書2ページ「議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」の説明をさせていただきます。本件につきましては、申請は畑 675㎡で申請件数が2件です。本件の内容ですが、

事項書3ページの1番の所有権移転については、 地目は畑、地籍は ㎡、譲渡人は、 、譲受人は

 で売買による所有権移転です。2番の所有権移転について

は、[redacted] 地目は畑、地籍は [redacted] m²、譲渡人は、[redacted] と [redacted] の共有名義、譲受人は [redacted] で売買による所有権移転です。

本件については、別で配布しました「令和4年2月7日開催農業委員会農地法第3条許可申請に係る資料」をご覧ください。

法第3条第2項の規定は、「前項の許可、つまり耕作を目的とした農地の権利移転などの法3条の許可については、次の各号のいずれかに該当する場合には、許可することができない。」となっており、以下法令の規定に沿って申請書類の内容を確認させていただき、当該規定に該当するどうか判断して頂くものです。

ただし、本件申請に関係ない条項については説明を省略します。

まず1ページの第1号関係ですが、権利を取得しようとする者等の「機械の所有状況」「農作業に従事する者の数」等からみて、取得する農地を効率的に利用して事業を行うと認められない場合は許可出来ないことになります。

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地の利用の状況ですが、1番2番ともに所有地の自作地が [redacted] m²です。

次に2ページ、1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況ですが、作付作物については、1番が田で水稻が [redacted] m²、畑で野菜が [redacted] m²です。2番は田で水稻が [redacted] m²、畑で野菜が [redacted] m²です。

機械の所有状況は、1番 2番ともにトラクター1台、田植機1台、自動車2台です。

資料3ページの農作業に従事する者としては、1番2番ともに、40年以上の農作業歴があり、世帯員等その他常時雇用している労働力は妻、長男の2名で農作業経験もあり、申請地までの距離は0.2 kmで移動時間は2分です。

次の2号、3号については該当ありません。

次に第4号ですが、権利を取得しようとする者等が、取得後において農作業に常時従事すると認められない場合は許可することが出来ないことになります。

資料4ページの1番2番ともに、農作業に従事する者の氏名は：[redacted] 歳、主たる職業：農業、権利取得者との関係は本人、農作業への年間従事日数は300日、[redacted] 歳、主たる職業：農業、権利取得者との関係は妻、農作業への年間従事日数は300日、[redacted] 歳、主たる職業：農業、権利取得者との関係は長男、農作業への年間従事日数は300日です。

次に第5号ですが、権利を取得しようとする者等が、取得後の農地面積の合計が当町の場合には50aに達しない場合は許可出来ないことになります。

5-1 権利取得後における経営面積は、1番は [redacted] m²、2番は [redacted] m²です。

5-2 特例事項は該当ありません。

6号7号についても該当なしです。

次に資料の6ページの7周辺地域との関係ですが、権利を取得しようとする者等が、取得後に当該地域の農地の集団化、作業の効率化、その他周辺地域の農地の利用などに支障を生ずると認められる場合には許可することが出来ないこととなります。

1番2番ともに「当該地は、現在、休耕地で雑草が繁茂しないように時々除草しているが、周辺の農地は迷惑を受けていることが多い状況である。今後は、私が周辺の農地には迷惑をかけないように管理する。なお、もし周辺農地に迷惑をかけたときは、私が責任を持って解決する。」としています。

また、資料の7ページの地域との役割分担につきましては、「当該地は、私の集落内であるので、農業関係の集会には毎回出席でき、農業関係の取り決めは遵守するとともに、共同作業等には総て参加する。」としています。

以上により事務局としては、1番2番の所有権移転について 農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

次に、事項書4ページの「議案第2号 農用地利用集積計画について」説明をさせていただきます。利用権の設定に係るもの貸付人3戸、借受人1戸の、筆数が■筆で、面積は■㎡です。

6ページの農用地利用集積計画の1番から3番についてまとめて説明します。利用権の設定を受けるものは■、地目は田、作物は水稲、借賃の支払方法は10a あたり■です。1番については、利用権の設定を行う者は■、面積は■㎡の■筆、利用権の存続期間は■年間で新規の賃借権です。2番は、利用権の設定を行う者は■、面積は■㎡の■筆、利用権の存続期間は■年間で再設定の賃借権です。3番は、利用権の設定を行う者は■、面積は■㎡の■筆、利用権の存続期間は■年間で再設定の賃借権です。

各筆の詳細については7ページ以降に記載がありますのでご確認をお願いします。

本件農用地利用集積計画については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。

議長

事務局の説明が終わりました。只今から申請・届出書類を回覧させていただきます。回覧が終わりますまで、暫時休憩とさせていただきます。十分な審査、ご確認を賜りますようお願いいたします。

[休会 午後7時10分]

(申請書回覧)

議長

それでは、申請・届出書類の回覧が終わりましたので、休憩を解きまして会議を再開いたします。

〔 開会 午後 7 時 15 分 〕

議 長 「議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」の「1番」と「2番」につきまして、申請地の担当推進委員及び農業委員からご意見を頂きます。

はじめに推進委員の平松和憲委員のご意見をお願いします。

平松和憲委員 特に問題ないと思います。

議 長 次に農業委員の加藤光雄委員のご意見をお願いします。

加藤光雄委員 同じく問題ないと判断しました。

議 長 ありがとうございます。ただいま担当推進委員及び農業委員にご意見をいただきましたので、他の委員さんで何か、ご質疑等がありましたらご発言願います。

(特に意見なし)

議 長 それでは、他にご意見ご質疑も無いようですので、次に「議案第2号 農用地利用集積計画について」につきまして、委員さんで何か、ご質疑等がありましたらご発言願います。

(特に意見なし)

議 長 それでは、他にご意見ご質疑も無いようですので、採決に入りたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 それでは採決に入ります。「議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について」の「1番」につきまして、原案に賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

議 長 ありがとうございます。
挙手全員により、「1番」は、原案どおり可決決定致します。

議 長 続きまして「2番」につきまして、原案に賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

議 長

ありがとうございました。
挙手全員により、「2 番」は、原案どおり可決決定致します。

議 長

次に、「議案第 2 号 農用地利用集積計画について」、原案に賛成の方は挙
手願います。

(挙手全員)

議 長

ありがとうございました。
挙手全員により、「議案第 2 号 農用地利用集積計画について」は、原案ど
おり可決決定致します。

議 長

これもちまして、本日の議題の審議は全て終了致しました。
長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。
これもちまして農業委員会総会を閉じさせていただきます。

(午後 7 時 25 分 閉会)

会議の次第は書記が記載したものであるが、その内容は
正確であることを証するためにここに署名する。

令和4年 月 日

木曾岬町農業委員会 会長

木曾岬町農業委員会 委員

木曾岬町農業委員会 委員

